

3回目の接種に想う

東京木材問屋協同組合
副理事長 庄司良雄

第3回目の接種が閣議決定される。それにより、住民票を登録している居住地の市区町村から2回目の接種が終わった方に第3回目の接種券の郵送が始まる。

江東区では、2月4日時点で、8月1日より31日までに第2回接種が終わった方に郵送され、予約も開始されている。

集団接種会場では、ファイザー製を使用し、個別会場(区内の150ヶ所の医療機関病院クリニック等)では、モデルナ製を使い、ファイザー製とモデルナ製の交接種も認められている。

厚生労働省の発表によると、日本で接種が進められているワクチンは、デルタ株等に対して、高い発症予防効果があり、感染や重症化を予防する効果も確認されている。しかしながら、感染予防効果等は時間の経過に伴い、徐々に低下していく事が、様々な研究結果から示唆されている。

例えば、ファイザー社のワクチンを接種された人の情報を集めた米国での研究によると、12歳以上における感染予防効果は、2回目接種後1か月では、88%であったところ、5～6か月後には47%にまで有意に低下したと報告があります。発症予防効果についても、6か月間の追跡調査の結果、2回目の接種後7日以降2か月未満では96.2%であったところ、4か月以降では83.7%であり、経時的に低下していく事が確認されています。

また入院予防効果や重症予防効果は、2回目接種から6か月後迄維持されると報告がある一方、60歳以上においては、接種完了から半年以降で重症例の発生率に上昇傾向が見られたという報告もあります。

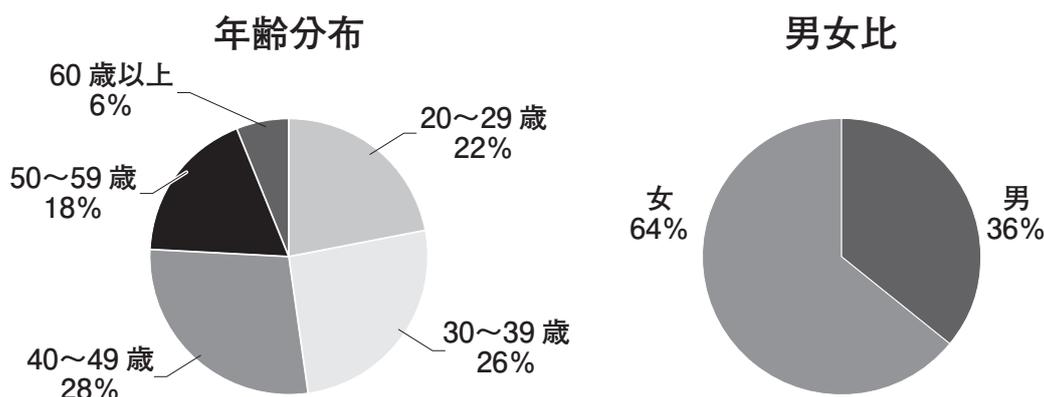
武田モデルナ社のワクチンについても、発症予防効果は、2回接種から4か月以降でも90%以上であったとの報告がある一方、感染予防効果については、全年代において、2回目接種の約1～4か月後では、おおよそ97%であったところ、その後4か月後には80%前後に低下したという報告もあります。

アストラゼネカ社のワクチンについては、デルタ株に対して発症予防効果が2回目接種後2～9週で最大66.7%となりその後20週以降で47.3%に低下したとの報告や、20週以降の入院予防効果や死亡予防効果の低下は限定的であったものの、高齢者や基礎疾患のある方ではより大きな入院予防効果の低下が確認されたとの報告があります。

このようなデータを踏まえ、厚生労働省の審議会で議論された結果、感染拡大防止及び重症化予防の観点から、2回目の接種が完了した方を対象に追加接種を実施することとされました。

しかしながら、3回目の接種が思うように進まないようだ。それもファイザー製かモデルナ製どちらを選択するかで地域によって温度差が出ている。医療関係者は、ファイザー製が多く、副反応があった方からの問い合わせが多いという事だ。今回ファイザー製の3回目の接種は1-2回目の接種と同じ量、モデルナは前回1バイアルから10人分だったのが、15人分と薄くなっている。

新型コロナワクチンの投与開始初期の重点調査(コホート調査)の中間報告(5)によると、モデルナ製については、ファイザー製より若干副反応が多い事例が多いようだが、厚生労働省は問題ないとしている。



	本アンケート結果	他施設全体の研究結果 ¹⁾
発熱 37℃未満	35%	-
37.0~37.4℃未満	13%	-
37.5~37.9℃	25%	16%
38.0℃以上	27%	22%
頭痛あり ²⁾	54%	53%
倦怠感あり ²⁾	79%	70%
疼痛腫脹あり ²⁾	87%	-
疼痛あり	-	87%
腫脹あり	-	13%
カロナールの内服有	50%	解熱鎮痛剤として13%

1) 新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査(コホート調査)の中間報告(5) (<https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000775324.pdf>) より抜粋。

被接種者(2回目)17,838名対象。

2) 頭痛、倦怠感、疼痛腫脹の程度

この調査は、今年の2月から接種を受けた医療従事者のうち約2万人を対象としたもので、年代別被接種者は、20代から50歳代がそれぞれ21~25%、60歳以上が8.7%となっています。男性34%、女性66%で、職種別では、医師17%看護婦47%、その他の医療従事者36%の内訳です。1回目の接種を受けた約1万9000人と、2回目を受けた1万7600人の報告データが集計されました。

それによると、2回目の接種後の方が1回目より副反応が強く現れ、年齢が高くなるほど発生率が低下する傾向が認められました。2回目は37.5℃以上の発熱が38.1%（1回目3.3%）にみられ、そのうち、38℃以上は21%を占めました。全身倦怠感69%（同23%）、頭痛54%（同21%）といずれも1回目、2回目とも90%強で大差ありませんでした。

2回目接種後に37.5℃以上の発熱がでたのは、20歳代では50%強、30歳代では45%弱でしたが、65歳以上の高齢者は9%と大幅に低下していました。全身倦怠感や頭痛も高齢者では38%、20%と他の年代に比べ低下していました。

副反応の強さは、女性の方が男性よりも強く、頭痛は男性が37%に対して女性は62%、37.5℃以上の発熱は男性が30%に対して女性は42%と高く表れました。

当方は筋肉痛で済んだが、モデルナアーム（上腕が赤く腫れる）、発熱したという方も多かったようです。なんにしろ、早くマスクの無い生活に戻り、4回目の接種も無いことを望みますと思っていた矢先、5月より開始される報道がある。